

京都府市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

与謝野町

2. 平成28年度 京都府市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について
【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目							
広域連携事業支援		丹後地域特産品販路開拓事業							
事業着手前									
課題・現状	長引く不況の影響の中、当町を含めた丹後地域においては地場産業・観光産業の活性化が課題となっており、都市部などで地域の魅力・情報発信を行うためには、単体の市町村を単位とするのではなく、広域を単位とした事業実施や発信が必要となっている。								
事業概要	京丹後市、宮津市、与謝野町や丹後地域各団体が連携して、丹後地域の魅力を大消費地において発信することを目的に、京都市堀川商店街にアンテナショップ「ホッと丹後」を運営し、丹後地域の観光情報の発信や製品のPRを行う。								
期待される事業効果等	丹後地域の魅力を広域的に連携して発信することで、それぞれの魅力がまとまりを持って、相乗効果的に発信できるとともに、コスト面等においても効果的に事業実施を行うことができる。								
事業実績									
取組状況	京丹後市、宮津市、与謝野町が連携して、丹後地域の魅力を大消費地において発信することを目的に、京都市堀川商店街にアンテナショップ「ホッと丹後」を運営し、丹後地域の観光情報の発信や製品のPRを行う。 丹後地域の各市町が連携して取り組むことにより情報発信機能が強化され、丹後地方の魅力をより効果的にPRすることができ、コスト面においても効果が期待できる。								
主な実績数値 (出来高数値等)	与謝野町負担金 210千円								
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由) 丹後地域の魅力発信は市町単体ではなかなか効果が得られるものではなく、丹後地域が協力してPRを行うことにより都市部の消費者にも魅力が理解されやすい。知名度向上や販路拡大にはまだ時間を要すると考えるが、引き続き近隣市町と連携して取り組んでいきたい。							
事業効果									
事業効果の考え方	京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金(千円)※都市部でPR活動のために店舗運営を直営で行った場合の想定事業費と比較								
年度	28	29	30	31	32				
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100				
本事業の実績額(b)	210	300	300	300	300				
効果(a)-(b)	4,890	4,800	4,800	4,800	4,800				

京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

与謝野町

2. 平成28年度 京都市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分	事業名・実施項目						
広域連携事業支援	公共交通利用促進事業						
事業着手前							
課題・現状	現在、公共交通の利用促進が課題となっている。鉄道は他の市町にもまたがっており、与謝野町だけで解決できるものではないので、沿線自治体という広域な単位で課題解決に取り組む必要がある。						
事業概要	高齢者(65歳以上)が京都丹後鉄道(丹鉄)を利用する場合に、片道運賃の上限を200円とすることで、安価で便利な公共交通として利用の促進を図る。						
期待される事業効果等	沿線自治体が連携して事業に取り組むことにより、高い発信力が得られ、相乗効果を生む。また、コスト面においても効果的に、事業を運営することができる。						
事業実績							
取組状況	高齢者(65歳以上)が京都丹後鉄道(丹鉄)を利用する場合に、片道運賃の上限を200円とすることで、安価で便利な公共交通として利用の促進を図る。						
主な実績数値 (出来高数値等)	与謝野町負担金 1,837千円						
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	沿線自治体が協力して取り組むことで、利用者にも広く周知ができる。全体でみると、前年度よりも切符発行数が増えている。引き続き連携して取り組んでいきたい。				
事業効果							
事業効果の考え方	高齢者片道上限200円レール事業委託料(千円)※単独で本事業を行った場合の想定事業費と比較						
年度	29						
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	19,644						
本事業の実績額(b)	1,837						
効果(a)-(b)	17,807						